

令和2年度 決算概要

決算状況をより分かりやすくお知らせするため、家計に例えて決算額の2000分の1で表しています。*（ ）内は実際の決算額

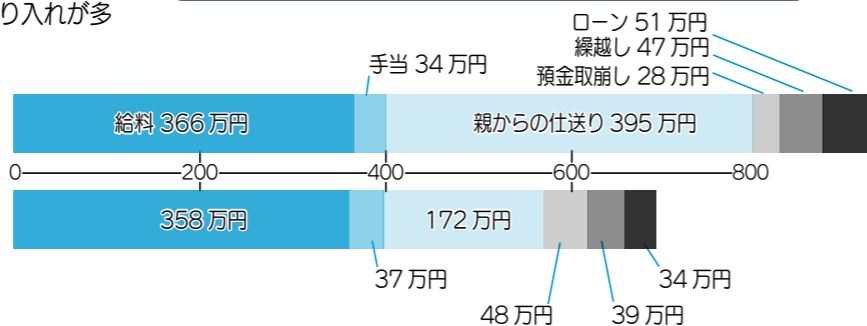


令和2年度の決算では、55万円（11億420万円）の黒字となりました。そこから、令和3年度へ繰り越した事業に必要な金額を除いた実際の黒字額は51万円（10億2,998万円）となりました。

収入 ※（ ）内は実績

◆令和2年度は、特別定額給付金など新型コロナウイルス感染症対策事業に伴う国・県支出金が増えたことで「親からの仕送り」が増えました。また、前年度に比べて、防災行政無線再構築工事などの実施に伴い地方債の借入れが多かったため、「ローン」も増えました。

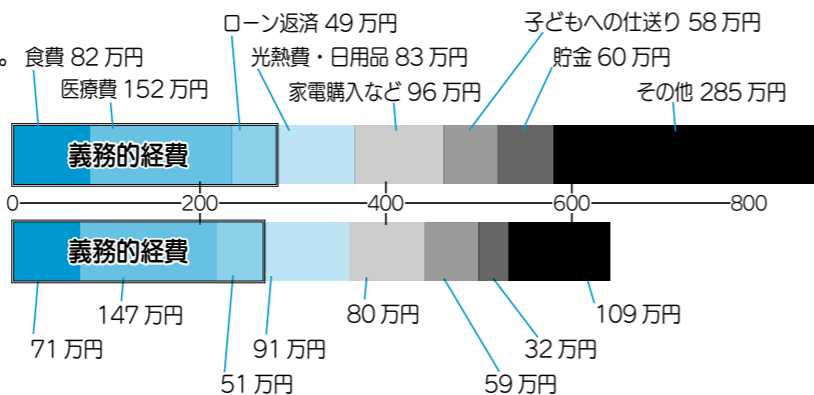
給料…地方税、地方交付税
 手当…分担金及び負担金、使用料及び手数料、財産収入、寄附金、諸収入
 親からの仕送り…地方譲与税、各種交付金、国庫支出金・県支出金
 預金取崩し…繰入金 繰越し…繰越金 ローン…地方債



支出 ※（ ）内は実績

◆令和2年度の支出の特徴は、特別定額給付金などの感染症対策事業を実施したことにより補助金等に当たる「その他」が大きく増えたことです。また、大雪で多くの除雪経費を要したことで維持補修費にあたる「家電購入など」も増えています。

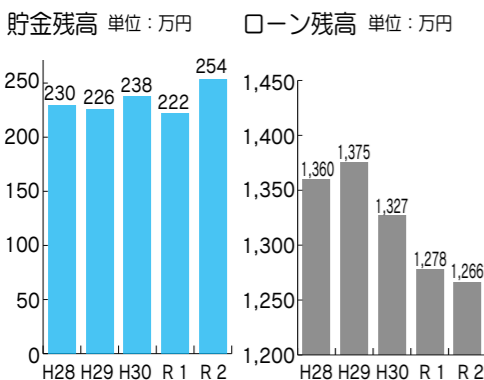
食費…人件費 医療費…扶助費 ローン返済…公債費
 光熱費・日用品…物件費 家電購入など…普通建設事業費、維持補修費
 子どもへの仕送り…繰出金 貯金…積立金 その他…補助費など、貸付金



◆支出の中でも削減することが困難な義務的経費（食費（人件費）、医療費（扶助費）、ローン返済（公債費））の割合が高いと、自由に使えるお金が少なくなり、経済（行政）活動が制限されます。

令和2年度の義務的経費が支出総額に占める割合については、32.8%(283万円(56億7,266万円))となりました。令和元年度は42.0%(269万円(53億6,708万円))だったので、対前年度比5.7%(14万円(3億558万円))の増となりました。前年度に地方債の繰上返済を実施したことで「ローン返済」が減った一方、学校給食費の無償化や特別定額給付金などの感染症対策事業により「その他」が増えたことによるものです。義務的経費の中でも、「医療費」は例年増加傾向にあるため、今後も動向に注意する必要があります。

●基金（貯金）、市債（ローン）残高の推移



基金（貯金）…財政調整基金、減債基金、その他特定目的基金の合計
 市債（ローン）…一般会計(497万円)、特別会計、公営企業会計の市債の合計
 ※一般会計ローン残高のうち、315万円は、臨時財政対策債の残高で、その全額が国により資金手当されます。

◆できるだけ借入に頼らない財政運営を行っていることや、令和2年度に地方債の繰上返済を行ったこともあり、ローン残高は1,266万円（253億2,298万円）と減りました（前年度比▲12万円（▲2億2,699万円））。一方で、次年度以降の支出に備えて基金を積み増し、貯金残高は254万円（50億8,187万円）と増えました（前年度比+32万円（+6億3,712万円））。今後、公共施設の整備に伴うローン返済の増加が見込まれることから、引き続き経費の節減合理化を図り、財政の健全化に取り組んでいくとしています。

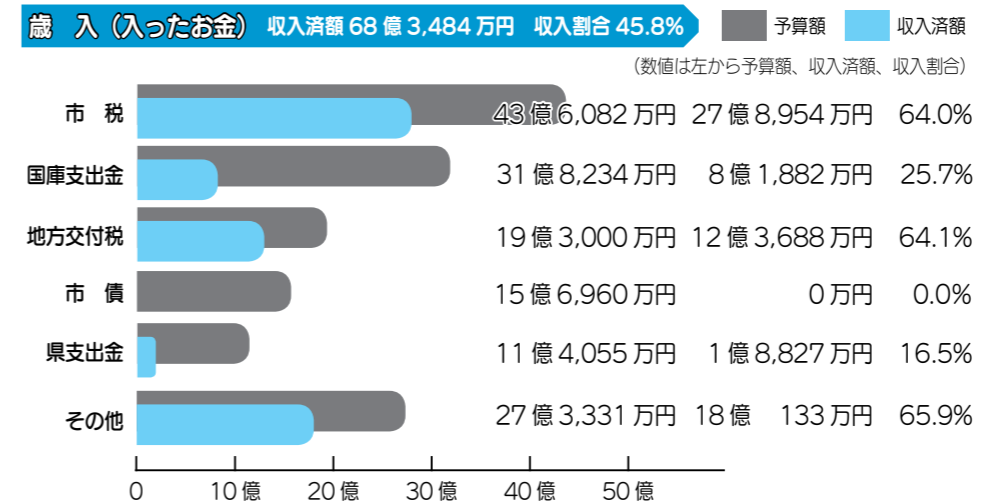
●特別会計・公営企業（水道・下水道事業）会計の決算

会計名	歳入	歳出	差引
国民健康保険事業	27億8,893万円	27億749万円	8,144万円
後期高齢者医療事業	8億6,463万円	8億5,367万円	1,096万円
介護保険事業 保険事業	29億6,948万円	29億3,486万円	3,462万円
サービス事業	1,191万円	1,191万円	0万円
工業団地造成事業	1億2,903万円	1億2,903万円	0万円
水道事業	5億862万円	6億4,365万円	▲1億3,503万円
下水道事業	27億8,774万円	32億3,347万円	▲4億4,573万円

令和3年度 予算執行状況

（令和3年9月末現在）

●一般会計予算執行状況（予算額149億1,662万円）※令和2年度からの繰越し分を含む



●特別会計予算執行状況

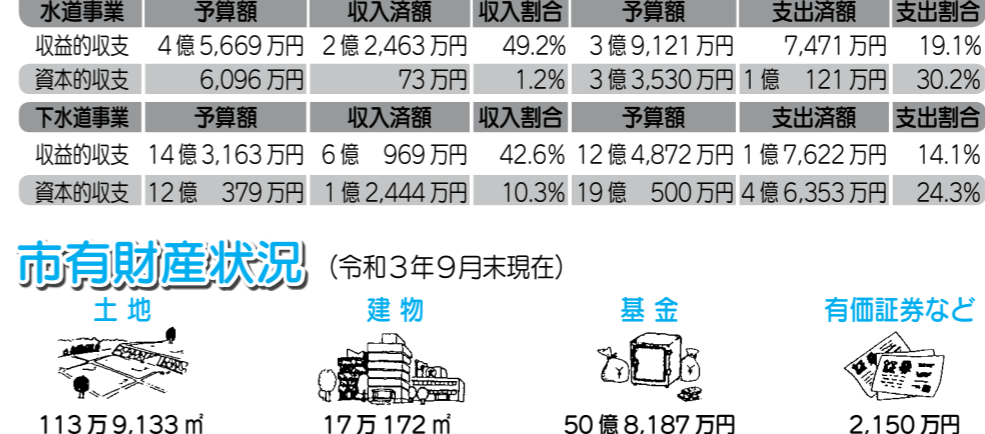
会計名	予算額	歳入		歳出	
		収入済額	収入割合	支出済額	支出割合
国民健康保険事業	27億3,382万円	10億6,728万円	39.0%	11億3,152万円	41.4%
後期高齢者医療事業	8億7,547万円	1億7,478万円	20.0%	2億7,120万円	31.0%
介護保険事業 保険事業	31億8,305万円	13億9,239万円	43.7%	12億4,920万円	39.2%
サービス事業	1,328万円	549万円	41.3%	663万円	49.9%
工業団地造成事業	27万円	34万円	125.9%	0万円	0.0%

●公営企業会計予算執行状況

事業	歳入			歳出		
	予算額	収入済額	収入割合	予算額	支出済額	支出割合
水道事業	4億5,669万円	2億2,463万円	49.2%	3億9,121万円	7,471万円	19.1%
資本的収支	6,096万円	73万円	1.2%	3億3,530万円	1億121万円	30.2%
下水道事業	14億3,163万円	6億969万円	42.6%	12億4,872万円	1億7,622万円	14.1%
資本的収支	12億379万円	1億2,444万円	10.3%	19億500万円	4億6,353万円	24.3%

●市有財産状況

（令和3年9月末現在）



滑川市の 財政事情

問合せ先 財政課（内線261・262）

市の財政状況を、1年に2回、市民の皆さんにお知らせしています。今回は、令和3年度予算の上半期の執行状況と市の財産の状況、令和2年度の決算の概要を掲載しています。

用語解説

【歳入の部】
市税
 市民の皆さんや法人が市に納める税金で、市民税、固定資産税、軽自動車税、たばこ税を総称したものです。

【国庫支出金・県支出金】
 様々な事業に対する国・県からの補助金、委託金などです。

【地方交付税】
 全国の市町村が等しく事務を行えるよう、一定の基準により国から交付されるお金です。
市債
 施設の整備などのために借りのお金です。

【歳出の部】
民生費
 障がい者、高齢者、児童の福祉や生活保護に使われます。

土木費
 道路、公園、市営住宅などの建設や管理に使われます。

総務費
 市の全般的な管理、企画や選挙、戸籍・住民票事務などに使われます。
衛生費
 ごみ処理や環境保全、市民の健康増進などに使われます。

教育費
 小・中学校、公民館の運営や、文化・スポーツの振興などに使われます。

公債費
 借り入れた市債の元金・利子などの償還に使われます。
農林水産業費
 農業や林業、水産業の振興などに使われます。

【各会計の解説】
一般会計
 市税収入を主な財源として、福祉、保健衛生、土木、教育、消防など市の仕事の大部分をまかなう会計です。

特別会計
 特定の事業を行う場合や特定の収入を特定の支出に充てる場合、一般会計とは別にその経理を明らかにするために設けられた会計で、本市には国民健康保険事業や介護保険事業など、4つの特別会計があります。

公営企業会計
 民間企業と同様に、事業で得た収入で支出をまかなうという、独立採算を原則とする事業について設けられた会計で、本市では水道事業会計と下水道事業会計が該当します。